

令和6年12月11日

令和6年度第9回理事会議事録

日時：令和6年12月11日（水）

第9回理事会 18時30分～20時40分

会場：オンライン会議室（ZOOM使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、千葉監事、安積局長、早瀬局長、田籠局長、辻岡局長、高尾部長、総務部中平・藤原

欠席者：實光理事

書記：中平

令和6年度第9回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和6年度第8回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行が委嘱状22件、お礼状報告書4件であったこと、財務部は36回学術大会及び研修集会事業の財務処理を行ったこと、各部の予算案の取りまとめ、各部の財務管理を行ったことが報告された。

安積局長（情報管理局）より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。SM部はセンターホームページの管理運営を行い、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を実施していることが報告された。ニュース編集部は府士会ニュース307号の取りまとめ、12月センター主催研修会情報のプッシュ通知の実施、ニュース発行に向けた事前会議を実施したことが報告された。SE部は大阪学会のサポートを行ったことが報告された。

鈴木理事より、令和7年1月創刊予定のニュース「おおさかPT学びの道しるべ」について質問があり、原稿締め切りは2024年12月20日であること、それ以降の投稿は2月発刊分になることが確認された。

田籠局長（生涯学習局）より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。研修事業は11月開催分のセンター主催研修会の参加者数の報告があった。また2025年度センター主催研修会の開催計画を行ったことが報告された。研修集会は、第7回生涯学習研修会の企画内容について報告された。受託研修部は2024年度下半期理学療法士講習会の8件中2件が終了したこと、2025年PT協会助成金事業が決定したこと、2025年度上半期理学療法士講習会の募集が終了したことが報告された。認定カリキュラムは、今年度のカリキュラムが終了したことが報告された。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中が7件であることが報告された。

辻岡局長（教育局）より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術大会部は第37回大会の準備が予定通り順調に経過していること、第38回大会の準備委員長が決定したことが報告された。臨床実習教育部は、臨床実習指導者講習会開催に向けた準備、実習前OSCEについて会議を開催したこと、Master講習会の準備を進めていることが報告された。研修理学療法教育部は、新人症例発表会の登録演題数や後期研修の開催終了等について報告

された。

イ 第36回大阪府理学療法学会 収支報告書について
都留理事より前回の理事会において、収支報告書の収入の部に誤りがあることが指摘されたことについて、修正点として収入の部の項目に「拠出金」と「学会大会費」と記載すること、収入の部の合計金額は変更が無いことが報告された。井阪副理事長より、既に大阪府に提出済であれば差し替えることが必要であることが指摘され、都留理事より準備委員に確認の後、差し替え手続きを行うとの返答があった。

ウ 令和7年度 臨床認定カリキュラム講習会について
鈴木理事より、11月の理事会において令和7年度の臨床認定カリキュラムを1領域追加し、計3領域の開催を予定すると報告したが、日本理学療法士協会へ手続きが9月末で終了していることが判明し、次年度の実現が不可能であることが報告された。次年度は、現在の運動器、循環器の2領域とし、新領域「臨床教育」は準備期間とすることが提案された。意見や確認事項は無かった為、報告通りの内容で進めることとなった。

エ 能登半島地震における石川県士会への義捐金について
井阪副理事長より大阪府理学療法士会と大阪府理学療法士会生涯学習センターより石川県理学療法士会に義捐金をお渡ししたことが報告された。総額は170万円、内20%の34万円をセンターから支出(10月29日付)したことが報告された。

オ 賛助企業制度について
本田理事より、OG・酒井・ミナトの3社と3回の意見交換会し双方のメリット、今後の関係性のあり方等を含め「賛助規程_1」を作成し、各企業に審議を仰いだ結果、特にご指摘事項は無かったことが報告された。規定文書の内容として、第3条「特典・優待の内容等は定期的(大阪府理学療法学会の会期等に合わせ)に意見交換会を実施する」と標記されたことが報告された。また追記として(優待)(1)学会協賛金の30%引きの文面を「飲食を伴わない」企業セミナーとする案が報告された。鈴木理事から質問があり、ランチョンセミナーを開催する場合、お弁当代に割引は適用せず、費用は企業側が負担することになる旨が確認された。特に反対意見や確認事項は無く一同賛成となった。中川理事長より、企業は一般会員と交流が出来る場を要望していることが補足説明された。また、本規定の運用開始に先駆けて2025年3月にセンター執行部役員、部長、部員との交流会を計画されていることが報告された。

(3) 審議事項

ア 近畿学会大会長の選出方法について
都留理事より、近畿学会大会長の選出方法について報告があった。中川理事長より、「理事会」とはセンターの理事会と士会の理事会のどちらを指しているのかが不明であること、いずれか一方の理事会であるのは問題があるため、すべて「合同会議」で決議をする内容に変更する必要があることが指摘された。また(5)について、投票で獲得した票が同数であった場合、理事長が決定するという事は難しいとの意見があった。工藤理事より、同数の場合は「獲得ポイントが高い方とする」という案が提示され、全員が賛成した。また中川理事長より、(6)は削除して良いのではないかとのご指摘があった。以上の内容について、全員の賛成が得られ、承認された。

イ 第36回大阪府理学療法学会 優秀演題賞および学術賞(奨励賞)推薦候補者について
都留理事より、受賞演題名、受賞者の推薦候補者が報告され、全員一致で賛成となり承認された。

ウ 令和7年度予算案について

井阪副理事長より、継続審議が必要であるため、今回の提議を取り下げる旨が報告された。

エ 雑誌「総合理学療法学」冊子体作成について

鈴木理事より、今年度より雑誌「総合理学療法学」の冊子体の印刷作成を廃止して、電子化することを検討している。ただし、学術編集部から著者用と記録保管用に数冊分は冊子体として作成したいとの要望があることが報告された。井阪副理事長より、経費削減としては大変有難い提案であると意見があった。中川理事長より、一気にペーパーレス化にならなくても良いので、段階的に進め最終的には完全ペーパーレスにすることで賛成との意見があった。以上について、全員一致で賛成となり承認された。

オ 役員及び部員に係る諸謝金の支給について

井阪副理事長より、府士会事務局と討議し令和7年度はオンライン会議の増額は据え置き、学会・研修会・講習会等の運営に携わる役員及び部員に対して謝金を支給することを先行して開始することで合意したことが報告された。また、センター各部局の活動状況を聴取した結果、令和7年度は約300万(税込)を見込んでいることが報告された。中川理事長より、この案を実行するにあたり会議費の制限が生じるのではないかと確認があった。井阪副理事長より、会議費が支給される対象が4回目までという制限で試算していると説明された。各部の理事、局長から意見を聴取した結果、部の活動状況は特徴が異なる為、一律な判断は難しいという意見が多かった。また会議として打ち合わせや検討を行う場合とオンラインツールを駆使して部内で日常的に活動を行うことの区別が難しいことも意見として挙げられた。井阪副理事長から、当日現場で運営として動いてくれる人に謝金を支給することから始めたいとの意見があった。中川理事長より、案には賛成である上で、当日の運営の業務が主ではない部に対しても、年1回でも良いので謝礼を支給するという案を考慮してもらいたいとの意見があった。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

カ 2025年度 大阪府理学療法士会 理学療法士講習会(上半期) について

中野理事より、2025年度の大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)について、11件(継続8件、新規3件)の応募があったことが報告された。受託研修部(講習会担当)で内容を確認し、いずれも問題はないことが報告された。また、オンライン形式が主流となり、対面のみに制限すると激減することが予測されるとの意見があった。鈴木理事から、オンライン形式の方が集客が多いことは明白であり、今後もオンラインの需要は高いことが予測され、継続する必要があることが示唆された。またオンラインであっても質が担保されているかの確認があったが、中野理事より、毎回のアンケート実施、講師にフィードバックすることを実施できていることが説明された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

キ 賛助企業広告作成規程

本田理事より、賛助企業が作成する配布される資料および講習会等の幕間に表示される広告、当センターホームページ掲載のバナー、当センター発行のニュースへの掲載記事を対象に規程した内容について報告があった。鈴木理事より、動画広告とは何を意味するのかと確認があり、本田理事より研修会の休憩時間等に映写するものであることが説明された。この点を分かりやすく記載する必要性が示唆された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

ク 生涯学習センター主催研修会の開催計画について

工藤理事より、令和7年度のセンター主催研修会の開催計画について、報告があった。中

川理事長より内容については賛成であること、その上で、改めて講師選定の基準を明確にしておくことのご指摘があり、専門、認定の資格が条件であることが再度確認された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

ケ 研修集会講師について

工藤理事より、第7回研修集会の講師選定の追加、修正について報告があった。テーピング材料費の費用は受講生が負担することを原則とすること、また会場費について確認が行われ、関西医科大学は無料であること、森ノ宮医療大学も昨年同様であることが報告された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

コ 賛助企業とのマッチングページ作成のための SE 部兼任依頼

本田理事より、賛助企業と会員とのマッチングを推進するためホームページの作成、変更を予定しており、SE 部（辻畑部長）に兼任を依頼したいことの報告があった。全員一致で賛成となり承認された

サ 令和7年度前期開催市区町村士会主催研修会について

工藤理事より、令和7年度前期開催の市区町村士会主催研修会について、34件の申請を受理したことの報告があり、全員一致で賛成となり承認された

4 その他

・令和7年度事業収支予算について

井阪副理事長より、令和7年度の事業収支予算について、別紙を参照して説明があった。本理事会で審議された役員及び部員に係る諸謝金の支給の案や、研修集会の会場費が軽減されたことを反映することが確認された。また懸念材料として学術大会の賃借料が増額となっている点などが報告された。千葉監事から、計画通りに実行されている事業がほとんどであるので現状に見合った予算と支出になっているとの意見があった。井阪理事より、最終案を検討し、次回の理事会に諮ることが報告された。

・事務所移転について

本田理事より、新事務所の内装イメージ図が提示された。射場副理事長より、事務員さんのデスクがあるスペースが中央の区分であることについて、外窓（採光のある側）である奥の区分が良いのではないかという意見が挙げられた。本田理事より、実際には奥の区分もあまり採光は無いこと、来客時の対応が迅速に出来るためには、原案である中央の区分が良いとの考えが説明され、全員の賛成が得られた。

以上

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志	職名	教育局担当理事
議題	第36回大阪府理学療法学会 収支報告書の件		
内容及び 提出趣旨	前回理事会において、収支報告書の収入の部に誤りがあることが指摘されました。そこで、再度精査した上で準備委員より修正版の提出がありましたので報告いたします。		
	添付資料（ファイル名）	36thCOPT 収支報告書（修正版）	
理事会での 意見・内容等	都留理事より前回の理事会において、収支報告書の収入の部に誤りがあることが指摘されたことについて、修正点として収入の部の項目に「拠出金」と「学会大会参」と記載すること、収入の部の合計金額は変更が無いことが報告された。井阪副理事長より、既に大阪府に提出済であれば差し替えることが必要であることが指摘され、都留理事より準備委員に確認の後、差し替え手続きを行うとの返答があった。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	鈴木俊明	職名	生涯学習局理事
議題	令和7年度 臨床認定カリキュラム講習会について		
内容及び 提出趣旨	<p>11月12日理事会において令和7年度の臨床認定カリキュラムは今年度より1領域を追加し、計3領域の開催を予定すると報告しました。</p> <p>受託研修部(認定カリキュラム事業)では、次年度に追加する領域の検討をお願いし、新領域として「臨床教育」とさせていただきたいと考えておりました。しかし、日本理学療法士協会への来年の手続きが9月末で終了していることが判明し、次年度の実現が不可能であることとなりました。</p> <p>そこで次年度は、現在の運動器、循環器の2領域と新領域「臨床教育」の準備期間とさせていただきます。</p> <p>「臨床教育」を選考した理由は以下の点であります。</p> <p>現時点で「臨床教育」を開催しているのは慶應義塾大学だけです。開催ニーズがあり、大阪府士会では当該領域での認定理学療法士は41名いるため実現可能性は高いと考えています。また、本センター教育部では認定臨床教育者制度を取り入れており、講師のレベルも高いと考えます。</p> <p>宜しくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：なし</p>		
	添付資料 (ファイル名)		
理事会での 意見・内容等	上記の報告内容に対して、特に意見や確認事項は無かった。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	能登半島地震における石川県士会への義捐金		
内容及び 提出趣旨	2024年1月1日に発生した石川県能登半島地震および能登豪雨の災害復旧・復興支援のため、大阪府理学療法士会と大阪府理学療法士会生涯学習センターより、石川県理学療法士会に義捐金をお渡ししました。 総額は170万円。うち20%にあたる34万円をセンターから支出(10月29日付)しましたのでご報告致します。		
	添付資料（ファイル名）	なし	
理事会での 意見・内容等	上記の報告内容に対して、特に意見や確認事項は無かった。現時点では、石川県からの御返事は無いことが報告された。		
備考			
	対応部局または理事氏名	事務局	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	本田憲胤	職名	理事（事務局担当）
議題	賛助企業制度について		
内容及び 提出趣旨	首題についてOG・酒井・ミナトの3社と3回の意見交換会（3/29・7/28・12/3）を開催してきた。 双方のメリット、今後の関係性のあり方等を含め【賛助規程_1】を作成し各企業へ持ち帰って検討頂いて頂いた結果指摘事項は無かった。 10月までに企業側の意見を収集し、規程の最終調整をおこない12月に3回目の検討会を実施し規定を完成させ次年度からの使用を予定している。		
	添付資料（ファイル名）	センター賛助会員規定_1	
理事会での 意見・内容等	鈴木理事から質問があり、ランチョンセミナーを開催する場合、お弁当代に割引は適用せず、費用は企業側が負担することになる旨が確認された。特に反対意見や確認事項は無く一同賛成となった。中川理事長より、企業は一般会員と交流が出来る場を要望していることが補足説明された。また、本規定の運用開始に先駆けて2025年3月にセンター執行部役員、部長、部員との交流会を計画されていることが報告された。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	都留 貴志	職名	教育局担当理事
議題	近畿学会大会長の選出方法について		
内容及び提出趣旨	<p>前回理事会で選考基準を承認していただきましたが、その際に立候補者がいなかった場合や複数名の立候補者がいた場合の選出方法について検討することとなった。</p> <p>選出方法について、ご審議のほど宜しくお願いいたします。</p> <p>(大会長立候補者の届出がなかった場合)</p> <p>理事会は大会長候補の条件に合う府士会員を大会長として選出しなければならない。</p> <p>(大会長立候補者の届出が複数名あった場合)</p> <p>理事会は、次の手順にて大会長を選出する。</p> <p>理事会は、提出された立候補趣意書・推薦書・立候補者届に基づき、選出のための協議を行うものとする。</p> <p>前項の協議により選出できなかったときには、理事の投票により選出するものとする。</p> <p>前項の投票は、理事会の席で1人が1票を投票するものとし、出席理事の過半数を獲得した大会長立候補者を大会長に選出するものとする。</p> <p>(4) 1回目の投票により選出できなかった場合は、1回目の投票結果から上位か2位で候補者として、前項の方法により再度投票を行うものとする。</p> <p>(5) 2回目の投票で獲得した票が同数であった場合は、理事長が決定するものとする。</p> <p>大会長立候補者の中に適任者がいないと理事会が判断した場合、理事会で大会長を選出する。</p>		
	添付資料 (ファイル名)		
理事会での意見・内容等	<p>都留理事より、近畿学会大会長の選出方法について報告があった。中川理事長より、「理事会」とはセンターの理事会と士会の理事会のどちらを指しているのかが不明であること、いずれか一方の理事会であるのは問題があるため、すべて「合同会議」で決議をする内容に変更する必要が指摘された。また(5)について、投票で獲得した票が同数であった場合、理事長が決定するという事は難しいとの意見があった。工藤理事より、同数の場合は「獲得ポイントが高い方とする」という案が提示され、全員が賛成した。また中川理事長より、(6)は削除して良いのではないかとのご指摘があった。以上の内容について、全員の賛成が得られ、承認された。</p>		
審議結果	上記の内容に修正し、承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	都留 貴志	職名	教育局担当理事
議題	第36回大阪府理学療法学会 優秀演題賞および学術賞（奨励賞）への推薦候補者について		
内容及び提出趣旨	<p>第36回大会における各賞の候補者が決定しましたのでご審議お願いいたします。</p> <p>大阪府理学療法学会優秀演題賞 演題名：回復期脳卒中患者における退院時歩行自立に関する臨床予測モデル：決定木分析を用いた検証 受賞者：山田 良 氏（岸和田リハビリテーション病院）</p> <p>下肢しびれ感を呈した自己免疫介在性脊髄炎患者に対するしびれ同調経皮的電気神経刺激が奏効した一症例 受賞者：廣田 泰成 氏（岸和田リハビリテーション病院）</p> <p>後方に特異的な身体傾斜による姿勢制御障害を呈した脳出血例の回復経過と考察 受賞者：中井 晴香 氏（千里リハビリテーション病院）</p> <p>演題名：肝線維化リスクの高い脂肪肝患者の進行予防に取り組んだ一症例 -通所リハビリテーションでの1年間の介入- 受賞者：中島 英士 氏（高遼会病院）</p> <p>びまん性汎細気管支炎患者に対しコンディショニングが運動耐容能の向上に寄与した一症例 受賞者：川崎 武人 氏（医学研究所北野病院）</p> <p>前十字靭帯再建術、半月板縫合術に加えて外側関節外腱固定術を施行した症例 ～大腿四頭筋、ハムストリングスの筋力回復の推移、関節可動域の早期改善について～ 受賞者：杉原 優輝 氏（大阪回生病院）</p> <p>大阪府理学療法士会学術賞への推薦 ・大阪府理学療法士会学術奨励賞 演題名：外来化学療法に通院するがん患者に対する運動指導の効果検証 受賞者：中野治郎 氏（関西医科大学）</p>		
理事会での意見・内容等	上記の内容で、意見や質問は無く、承認された。		
備考	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	本田憲胤	職名	理事 (事務局担当)
議題	令和7年度予算案について		
内容及び 提出趣旨	令和7年度予算案が各部から出揃いました。 次年度開始の有無につき審議中の 報酬有無に分け2ファイルに纏めております。 ご審議をお願い致します		
	添付資料 (ファイル名)	令和7年度事業収支予算_(R6.11.23)報酬なし 令和7年度事業収支予算_(R6.11.23_報酬あり)	
理事会で の 意見・内容 等	井阪副理事長より、継続審議が必要であるため、今回の提議を取り下げる旨が報告された。		
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明	職名	生涯学習局理事
議題	雑誌「総合理学療法学」冊子体作成について		
内容及び提出趣旨	<p>雑誌「総合理学療法学」は冊子体として印刷し、著者及び都道府県士会に配布している。しかし、雑誌の内容はJ-Stageにて無料で公開されていることから、今年度より冊子体の発送は著者のみとして、都道府県士会には冊子体の発送は廃止したい。これにより、雑誌作成の経費の削減(30～40万円の削減)につながるためにご理解いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：なし</p>		
	添付資料（ファイル名）		
理事会での意見・内容等	<p>鈴木理事より、今年度より雑誌「総合理学療法学」の冊子体の印刷作成を廃止して、電子化することを検討している。ただし、学術編集部から著者用と記録保管用に数冊分は冊子体として作成したいとの要望があることが報告された。井阪副理事長より、経費削減としては大変有難い提案であると意見があった。中川理事長より、一気にペーパーレス化にならなくても良いので、段階的に進め最終的には完全ペーパーレスにすることで賛成との意見があった。以上について、全員一致で賛成となり承認された。</p>		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	役員及び部員に係る諸謝金の支給について		
内容及び提出趣旨	<p>標記の件について、府士会事務局と討議し、R7年度はオンライン会議(1,113円/回)の増額は据え置き、先に学会・研修会・講習会等の運営に携わる役員及び部員に対し、謝金を支給から開始することで合意した。</p> <p>センター各部局の活動状況を聴取した結果、表のとおりR7年度は約300万(税込)を見込んでいる。R7年度事業予算に組込み試算する件についてご審議いただきたい。</p>		
	添付資料（ファイル名）	資料あり 役員・部員の謝金試算1枚	
理事会での意見・内容等	<p>井阪副理事長より、府士会事務局と討議し令和7年度はオンライン会議の増額は据え置き、学会・研修会・講習会等の運営に携わる役員及び部員に対して謝金を支給することを先行して開始することで合意したことが報告された。また、センター各部局の活動状況を聴取した結果、令和7年度は約300万(税込)を見込んでいることが報告された。中川理事長より、この案を実行するにあたり会議費の制限が生じるのではないかの確認があった。井阪副理事長より、会議費が支給される対象が4回目までという制限で試算していると説明された。各部の理事、局長から意見を聴取した結果、部の活動状況は特徴が異なる為、一律な判断は難しいという意見が多かった。また会議として打ち合わせや検討を行う場合とオンラインツールを駆使して部内で日常的に活動を行うことの区別が難しいことも意見として挙げられた。井阪副理事長から、当日現場で運営として動いている人に謝金を支給することから始めたいとの意見があった。中川理事長より、案には賛成である上で、当日の運営の業務が主ではない部に対しても、年1回でも良いので謝礼を支給するという案を考慮してもらいたいとの意見があった。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。</p>		
審議結果	承認され、令和7年度から開始することとなった。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	中野治郎	職名	生涯学習局理事
議題	2025年度 大阪府理学療法士会 理学療法士講習会(上半期) について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>2025年度の大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)を募集したところ、資料のように11件(継続8件、新規件)ございました。</p> <p>今年度8件→来年度11件に増加しています。 増加した3件の内、2件は新規講習会、1件は今年度下半期に開催した講習会を上半期に開催という結果です。</p> <p>内容としては受託研修部(講習会担当)で確認し、いずれも問題はございませんでしたのでご承認いただきたく存じます。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料(ファイル名)	2025年講習会リスト(上半期)	
理事会での意見・内容等	<p>中野理事より、2025年度の大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)について、11件(継続8件、新規3件)の応募があったことが報告された。受託研修部(講習会担当)で内容を確認し、いずれも問題はないことが報告された。また、オンライン形式が主流となり、対面のみに制限すると激減することが予測されるとの意見があった。鈴木理事から、オンライン形式の方が集客が多いことは明白であり、今後もオンラインの需要は高いことが予測され、継続する必要があることが示唆された。またオンラインであっても質が担保されているかの確認があったが、中野理事より、毎回のアンケート実施、講師にフィードバックすることを実施できていることが説明された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。</p>		
備考	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	本田憲胤	職名	理事（事務局担当）
議題	賛助企業広告作成規程		
内容及び提出趣旨	賛助企業が作成する配布される資料および講習会等の幕間に表示される広告、当センターホームページ掲載のバナー、当センター発行のニュースへの掲載記事を対象に規程を作成した。 審議をお願い致します。		
	添付資料（ファイル名）	賛助企業広告作成ルール_0	
理事会での意見・内容等	本田理事より、賛助企業が作成する配布される資料および講習会等の幕間に表示される広告、当センターホームページ掲載のバナー、当センター発行のニュースへの掲載記事を対象に規程した内容について報告があった。鈴木理事より、動画広告とは何を意味するのかと確認があり、本田理事より研修会の休憩時間等に映写するものであることが説明された。この点を分かりやすく記載する必要性が示唆された。		
審議結果	以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎	職名	生涯学習局理事
議題	生涯学習センター主催研修会の開催計画について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>令和7年度は年間60回の研修会の開催を計画している。 再来年度以降も継続的な事業として維持するため、今年度までの開催状況を踏まえ以下の提案についてご承認いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域は神経系・運動器・内部障害を軸として、原則幅広く網羅するようにする。 ・各領域の核となるテーマは変えず一定数確保し、内容に合う講師を選定する。 ・対面は若手向けの内容とし、1年目は無料とする。 		
	基礎	12	12名、任期3年、4名ずつ入替
	その他	7	ウイメンズ(1)、小児(1)、キャリア・人材育成・教育(1)、産業・予防(1)、地域・高齢者(1)、EBP・研究(1)、基礎医学・評価(1)
	運動器	14	肩(2)、肘手足(2)、脊柱(2)、股(3)、膝(3)、スポーツ(2)
	神経	11	脳卒中(痙縮/筋緊張/連合反応)(4)、麻痺への介入(感覚入力/ハンドリング)(4)、神経疾患(パーキンソン・小脳疾患・脊髄疾患など)(3)
	内部	12	循環(急性期/心不全・腎不全/心電図/リハ/集中治療)(5)、呼吸(COPD・間質性肺炎/リハ/サルコペニア・栄養/呼吸基礎)(4)、がん(3)
	対面	4	評価(2)、治療介入(2) ※若手が対象
	<p>・基礎の講師は原則3年通年だが、薬理学を企画しており、領域毎に扱う内容が大きく変わる場合、1年毎に同水準の別の講師に依頼してもよいか。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
添付資料 (ファイル名)		令和7年度生涯学習センター主催研修会	
理事会での意見・内容等	<p>工藤理事より、令和7年度のセンター主催研修会の開催計画について、報告があった。中川理事長より内容については賛成であること、その上で、改めて講師選定の基準を明確にしておくことのご指摘があり、専門、認定の資格が条件であることが再度確認された。</p>		
備考	対応部局または理事氏名	工藤慎太郎	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎	職名	生涯学習局理事
議題	研修集会講師について		
内容及び提出趣旨	第7回研修集会について、講師の選定を追加、修正しております。		
	修正内容 ・呼吸理学療法講師を玉木彰先生に変更した（千住先生が専門PTを有していないため） ・脇田先生、藤本先生の追加（地域理学療法系、小児理学療法系） ・田頭先生の受講料の変更（テーピングの実技を行うため、材料費を上乗せ） 以上ご審議ください。		
	添付資料（ファイル名）	20241203_7th 研修集会講師候補者リスト	
理事会での意見・内容等	工藤理事より、第7回研修集会の講師選定の追加、修正について報告があった。テーピング材料費の費用は受講生が負担することを原則とすること、また会場費について確認が行われ、関西医科大学は無料であること、森ノ宮医療大学も昨年同様であることが報告された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名	工藤慎太郎	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	本田憲胤	職名	理事（事務局担当）
議題	賛助企業とのマッチングページ作成のための SE 部兼任依頼		
内容及び 提出趣旨	賛助企業と会員とのマッチングを推進するため ホームページの作成、変更を予定しています。 依頼項目が増えるために、SE 部（辻畑部長）に兼任を ご依頼したいと考えています		
	審議をお願い致します。		
	添付資料（ファイル名）		
理事会での 意見・内容等			
審議結果	以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎	職名	生涯学習局理事
議題	令和7年度前期開催市区町村士会主催研修会について		
内容及び 提出趣旨	(提出趣旨) 令和7年度前期開催の市区町村士会主催研修会について、34件の申請を受け付けたので承認をいただきたい。		
	添付資料:あり		
	添付資料(ファイル名)	2025年度前期開催申請書	
理事会での 意見・内容 等	上記の内容で、意見や質問は無く、承認された。		
備考			
	対応部局または理事氏名	工藤慎太郎	